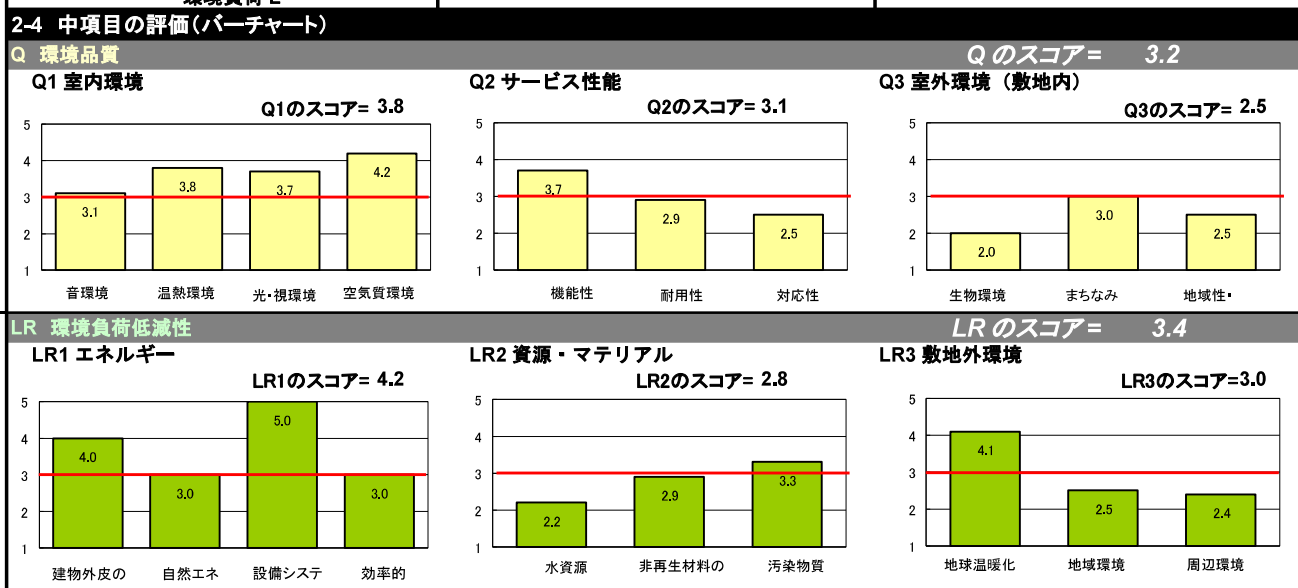
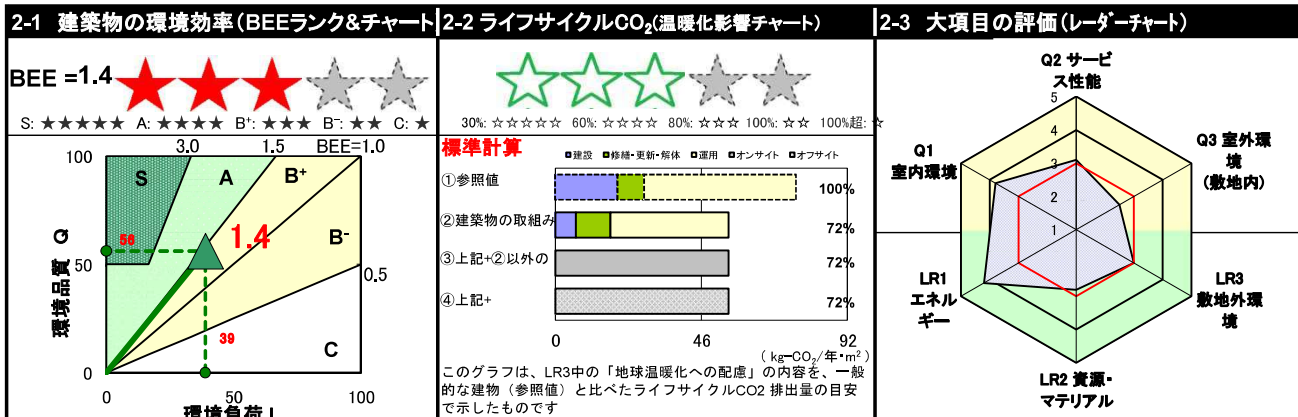


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市中央区宮崎1丁目計画	階数	地上7F
建設地	千葉県千葉市中央区宮崎一丁目18	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火	平均居住人員	1,072 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2025年12月15日
敷地面積	16,274 m ²	作成者	
建築面積	4,129 m ²	確認日	2025年12月15日
延床面積	21,091 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 敷地内には豊富な緑量を確保し、周辺環境をデザインに取り込み、色彩計画や素材をまとめた。仕様としては断熱性能等級4取得予定、道路境界側に豊かな緑計画を行い環境に配慮した計画とした。		その他 0
Q1 室内環境 ・ 界壁遮音性能Dr-50を確保 ・ 断熱等性能等級における等級4相当 ・ 昼効率 住戸: 2.6% ・ 屋光制御 カーテン及びバルコニー庇の組み合わせで	Q2 サービス性能 ・ 各住戸Gbitクラスのブロードバンドが利用可能 ・ 維持管理機能の確保 清掃人控室と管理倉庫の設置 ・ 住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定 ・ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ビニールクロス貼	Q3 室外環境(敷地内) ・ 外構緑化指数=76%
LR1 エネルギー ・ 住宅性能表示制度 断熱性能等級4相当	LR2 資源・マテリアル ・ 躯体、内装材が容易に分別可能となっている ・ 指定化学物質を含有しない壁紙用接着剤を使用	LR3 敷地外環境 ・ CO ₂ 排出量=72% ・ 荷捌き用車両の駐車施設確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される